

令和元年度 第6回 GHひかり 運営推進会議 議事録

会議日時	2 年 3 月						書面にて報告後ご意見返信頂いての議事録			
出席者	ご家族	0名	民生委員様	0名	介護相談員様	0名	地域包括支援センター様	0名		
	職員	0名	ご利用者様	0名	*コロナ禍感染症対策のため書面にて報告。ご意見伺う。					
場所										
ご利用者の状況	1ユニット				2ユニット			合計		
	男性	1名	平均年齢	83歳	男性	2名	平均年齢	85歳	男性	3名
	女性	7名	平均年齢	85歳	女性	6名	平均年齢	86.4歳	女性	13名
								年齢	84.4歳	
	介護区分の分布	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度		
		0名	6名	5名	2名	2名	2名	2.52		
皆様からの意見・ご提案など	【1】利用者様の状況報告 ・入居者数18名：退去(2/27)2名入居(2/20,3/10)・1名新規申請中(4/3調査済み) ・看取り対応：2/27ご逝去。他入居者様、職員にて最後を見送らせていただいた。									
	【2】事故・ヒヤリハットの報告 事故 (1)転倒8件(同入居者様)(2)単独外出1件(3)服薬・薬管理1件(4)受傷発見8件 ①三島市①報告事例。歩行器使用せず自室内で転倒。手の甲の小さな骨にひび。しばらく車椅子移動似て介助での対応。②三島市報告事例。物音がして自室確認すると床に長座位になっていた。後頭部にこぶ。受診にて頭蓋内への影響無し。センサーで自室内の動作確認していたが目視でも確認するようご家族に了承いただき入口を常時見えるように開けておく対応とした。自立動作ある方で動作に不安がある場合には夜間、センサー設置で自室内で起居動作あった際に確認できるよう対策していたがセンサー対応だけでは事故予防が難しいと至ったケースが目立った。環境整備をするとともにできる限り事故を減らすためには自室内の様子もMで確認させていただき調整があると感じた。 ③単独外出：すぐ戻るのご本人の言葉だけで判断し席を離れた後の行動を目視で確認していなかった。出入口のセンサー音にも気づかない状態もあり、センサー音が日常化して意識が薄れていると感じた。 ④服薬の事故：服薬後に溶けた錠剤を発見したり清掃の際に落葉に気付いたり、服薬介助を行っているにもかかわらず、しっかりと飲んでいない事例多い。手のひらにのせて口へ入れるまで確認等服薬チェックの体制を何重にもしているが手順通りに行っていない、他入居者の対応をいっていると一人で服薬の対応を行ってしまっていることが要因。前回の対策を生かしていない。再度徹底して周知した。 ⑤受傷・外傷発見：自立動作される方からの受傷発見が多い。ご自身で搔いて傷になったりどこで切ったかわからないと指先に切り傷が出来ている事例。すべてを回避することは難しいが自立動作の方がけがをしないうような環境への工夫が必要であると認識し、トイレや自室環境整備を周知した。									
	新規入居の方の行動把握に重点を置いているが職員が予想もできない行動をとられることも多く入居間もない方のヒヤリが断然多い。歩行器使用を忘れる、単独外出をされるひやりが多く一定時期に集中して回数が多い傾向にある。天候やご本人の影響を与えることが関係していると推測されるが予測できないことが多い。しかし回数が重なっていくことで対策は取れやすくなっている。									
	【3】ホームの活動内容・研修の報告 行事：1/10、24 2/14いきいき体操(11/22,12/13,27)協力医訪問診察(全体)1/14、28、3/17、31訪問美容1/8、2/5、4/1(3月は感染対策のため中止)									
	【4】職員の状況報告 ・入職(非常勤夜勤専従1名5/4、採用面性t1名予定)・退職1名常勤(4/30) ・現在の職員数…常勤9名(管理者含む) 非常勤6名(障害者雇用含む) 派遣1名 計16名									
	【5】入居者様のご様子等 感染症に関する報告(インフルエンザ)1月中旬職員1名罹患(症状軽度)以後職員、入居者様ともに罹患患者なし。 コロナウィルスに対して 2月中旬ごろ、話題になった頃は感染流行時期の感染対策を徹底Rすることからはじめた。3月には業者、配送関係は玄関先での対応とし、ご家族様には書面等で緊急時以外の面会や来訪の自粛を依頼。ご家族様は直接ご様子が見えなくなり不安も生じるので、月1回のお便りとは別に入居者様の様子がわかるよう顔写真とともに近況報告のお便りを追加した。 入居様の余暇活動としては近郊への散歩を中心に人を避けて気分転換を図るよう配慮。 職員に対しては高齢者へ携わっているため感染の橋渡しとならないよう不要ふきゅの外出の自粛や感染リスクの高い場所への往来を中止してもらうなど依頼。 往来を避けてもらうなど ケアにあたる際には手指消毒、検温を徹底、毎日の健康チェックを行っている。 マスクやアルコール、具R部の在庫不足、調達が困難となっているが自治体や他事業所とも連携をとり確保できている。									
	民生委員様：コロナの状況で入居者様の介護をしている職員のみなさんも大変ですが頑張ってください。 →暖かいお言葉ありがとうございます。地域の活動ができなくなっていますがまずは感染予防を徹底していきます。									
	三島市相談員様：入居者様とは玉一度も会えていないのでわからないことが多いが報告書により多少の理解はしました。 第一印象としては事故、ヒヤリが多いなと思いました。色々対策はしていると思いますが事故を減らすために下半身の筋力アップの体操が大切だと思います。この施設の職員数がギリギリでの状態をよく頑張っていると思います。コロナが収まりお会いできる日を楽しみにしています。 →今回より相談員さんが変わりその中でコロナ禍となって来訪いただけておりませんが貴重なご意見ありがとうございます。									
	地域包括様：事故報告やヒヤリハットを見ても職員の大変さがわかります。コロナに関しては今後どうなるか予測がつかませ利用者だけでなくスタッフもストレスが生じていることと思いますがグループホームは一つの家族です。どんな時も明るく生活していきましょう。 →励ましのお言葉ありがとうございます。感染対策をしつつ、入居者様の職員もできるだけストレスが溜まらないように小さい事でも楽しみのある生活を送れるようホーム全体で対策をとりながら乗り越えていきます。									
	次回予定	令和	2年	7月	8日	13時	30分より	報告者：GHひかり 相澤悦子		